



当日の皆様のご来場をお待ちしております。

JEF – Chatham House Symposium

Post-Crisis Analysis: How Japan and Europe Responded, what Results to Expect

(日英同時通訳付き)

平成 22 年 3 月 26 日(金) 13:15-16:50 帝国ホテル 中 2 階「光の間」
(受付開始 12:30) 参加費無料 事前申込制 定員になり次第、締め切らせていただきます

主催: (財) 国際経済交流財団(JEF) 英国王立国際問題研究所(チャタムハウス)

【お問い合わせ】 参加申込 日欧フォーラム運営事務局

e-mail: jefch2009@congre.co.jp Tel: 03-5216-5303 Fax: 03-5216-5552

リーマン・ショックに端を発した米国の金融危機は、グローバル化のルートを逆流して、瞬時に世界各国に波及、この過程で、好調なアジア経済、打撃からなお立ちあがれない日米欧先進経済といった明暗が現出している。とりわけ、EU 域内では、今回危機の悪影響は各国毎にまだら模様で、直近ではギリシャやポルトガル・スペインなど、体質の弱い国々の打撃の大きさが顕在化してきた。今回のシンポジウムでは、欧州の政策実務の関係者や産業関係者、日欧の有識者が一堂に会し、まず、これまでの経済成長モデルの破たんについて議論します。何故誤ったのか、今後是正は可能なのか、可能であるとすれば、どのようにすれば可能になるのか、などが論じられます。次いで、この危機克服の過程から、将来、グローバル経済がどのような体質に変質していくのか、世界の各種業界の再編や立地移動がどの程度進むのか。或いは、どのような秩序やルールが生み出されるのか、さらには、そうした新秩序形成に際し、日欧はどのような協力を行えばいいのかなど、を討議します。

プログラム(案)

- 12:30 開場並びに受付
- 13:15-13:20 開会の辞: 畠山 襄 国際経済交流財団 会長(JEF)
- 13:20-14:00 基調講演: 岡田 秀一 経済産業省 通商政策局 局長
ブノワ・クレ フランス経済財務雇用省 国庫局 国債庁 長官
- 14:00-15:15 パネル・ディスカッション 1: 経済成長モデルの破綻: その後の対応と結果について
議長: パウラ・スバキ 王立国際問題研究所(チャタムハウス) 国際経済部 調査部長(英国)
オープニング・アドレス: マルコ・ブーティ 欧州委員会 経済金融総局 総局長
パネリスト:
* 嘉治 佐保子 慶應義塾大学 経済学部 教授
* マルティン・シュルツ 富士通総合研究所 主任研究員
* 杉浦 哲郎 みずほ総合研究所 専務執行役員 チーフエコノミスト
レイチェル・ロマックス 元イングランド銀行 副総裁
八代 尚宏 国際基督教大学 教養学部 社会科学科 教授
ジャン・ピエール・レーマン 国際研究所(IMD) 国際政治経済学部教授、エビアングループ創設者
クロード・メイヤー パリ政治学院 准教授
* によるコメントの後、全パネリストによるディスカッション
- 15:15-15:30 コーヒーブレイク
- 15:30-16:45 パネル・ディスカッション 2: 金融危機後の世界経済の展望
議長: 鷲尾 友春 国際経済交流財団 業務部長(JEF)
オープニング・アドレス: レイチェル・ロマックス 元イングランド銀行 副総裁
八代 尚宏 国際基督教大学 教養学部 社会科学科 教授
パネリスト:
* ジャン・ピエール・レーマン 国際研究所(IMD) 国際政治経済学部教授、エビアングループ創設者
* クロード・メイヤー パリ政治学院 准教授
パウラ・スバキ 王立国際問題研究所(チャタムハウス) 国際経済部 調査部長(英国)
マルコ・ブーティ 欧州委員会 経済金融総局 総局長
嘉治 佐保子 慶應義塾大学 経済学部 教授
マルティン・シュルツ 富士通総合研究所 主任研究員
杉浦 哲郎 みずほ総合研究所 専務執行役員 チーフエコノミスト
* によるコメントの後、全パネリストによるディスカッション
- 16:45-16:50 閉会の辞: パウラ・スバキ 王立国際問題研究所(チャタムハウス) 国際経済部 調査部長(英国)
- 16:50 終了